

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本科目は、実社会の仕事について知ること、その上で採用選考への対応を体系的に習得するものである。新卒就職市場は、年度ごとに変化があるため最新の傾向を踏まえて体系的に多くのことを習得する必要がある。講師の実務経験に基づいた的確な分析と最新の傾向を踏まえた指導は、多くの成果を挙げてきた実績のあるもので、夏休みインターンシップに取組む前の準備が着実に習得できていく。また、本科目は「高等学校教諭第一種免許」教養課程の必修科目であるため、商業科目担当教員の視点から高校生に職業指導をするための基礎知識となる要素を含む。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション、評価方法の説明、受講ルール、資格・インターンシップについて
第 2 回	「ビジネス経済応用」の観点から行う業界分析
第 3 回	就職情報メディア・ポータルサイト メディアの特性とユーザー登録、使い分け
第 4 回	自己分析の仕方と「自己PR」の作り方を知る
第 5 回	インターンシップ① インターンシップが採用に直結する
第 6 回	インターンシップ② 本学独自の夏のインターンシップ企画
第 7 回	ESの完成がなぜ必要か、逆求人サービス
第 8 回	自然環境保護と本学の活動を「ガクチカ」に生かす、理解度小テスト①
第 9 回	企業分析の方法、志望動機の作り方
第 10 回	就活マナー 電話・メール・PCのマナーをマスターする
第 11 回	オンライン選考の対策
第 12 回	グループワーク・グループディスカッションの対応方法
第 13 回	誰も気付いていない面接の8つのコツ
第 14 回	経済活動と法の観点から、ESG 経営、働き方改革
第 15 回	振り返り、理解度小テスト②、最終課題レポートの提出
第 16 回	試験もしくは最終レポート提出

到達目標

1. 業界・業種ごとの知識を身に付け、それに基づき問題点や課題を指摘することができる。
2. 就職活動の実践に向けて、その方法を構想、計画ができる。
3. 就活の最新情報と利用すべきサービスを客観的に捉えることができる。

履修上の注意

- ・授業計画は変更になることがあります。
- ・講義の理解を深めるため、講義テーマと連動する動画を視聴することがあり、欠席者は視聴できない。
- ・授業開始から30分までは遅刻として受講を認める。30分以上遅れての入室は欠席扱いとする。遅刻3回で1回の欠席扱いとし、欠席の累計が5回を超えると単位付与は行わない。

予習・復習

- ・予習：授業の最後に、次回の授業で取り扱うメインテーマやキーワード（関連する用語）を提示するので、それを予習として行った上で次回授業に望むこと。
- ・復習：毎回の授業では「授業内課題シート」を記載し提出する。それを確実に習得することを課す。前半・後半に分けて「理解度小テスト」を2回実施し、復習状況のチェックとし、単位評定に反映する。

評価方法

以下の3項目を数値化し、それに受講姿勢と習得状況を精査した総合評価とする。

- ・平常点（出席・毎回の授業内課題シートの提出） 50%
- ・理解度小テスト（前半・後半、2回実施） 30%
- ・最終課題レポート 20%

テキスト

- ・テキストの指定はしない。スライドを準備し、必要に応じてプリントを配布する。

評価